

三遠南信自動車道開通時の経済効果 調査結果報告



三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)

三遠南信地域経済開発協議会

1. 業務の概要

本業務の目的

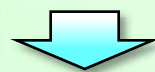
三遠南信自動車道とは

中央自動車道・飯田山本インターチェンジICから新東名高速道路・浜松いなさJCTに至る、総延長約100kmの高規格幹線道路



開通による期待

人的交流が活発となり、観光・製造業等の産業分野、医療・福祉等の分野など多様な効果を期待



開通時の経済効果を調査

調査項目

WEBアンケート調査

本地域への関心度、旅行の目的、移動手段、観光ニーズなどを調査

事業者ヒアリング等調査

本地域の特色や課題、開通への期待、取組みを調査

経済波及効果の推計

整備効果及び開通効果の2つの側面で調査

三遠南信自動車道の整備状況

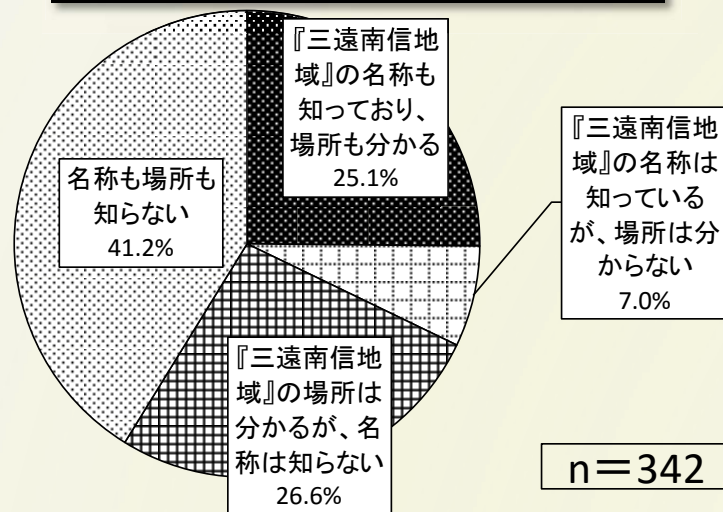


2. WEBアンケート調査結果

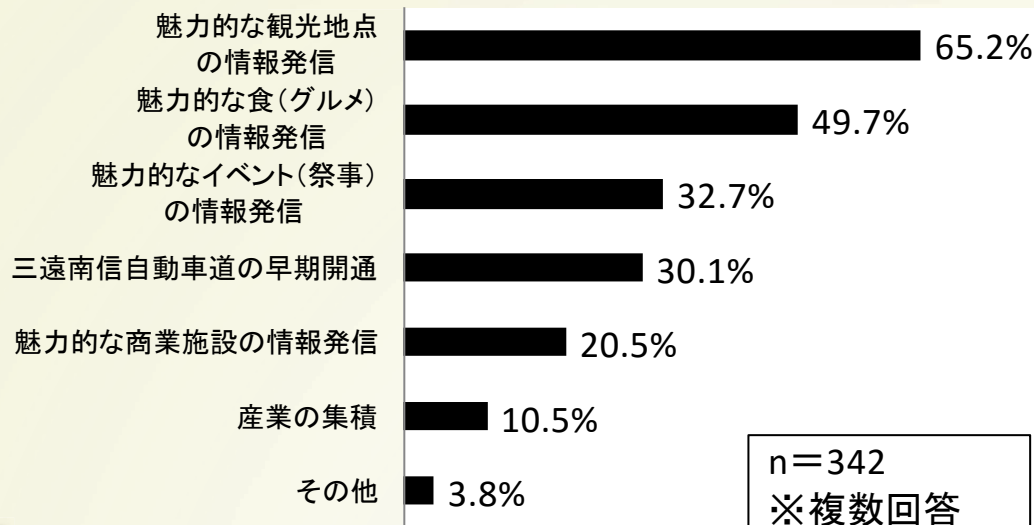
調査概要

対象 : NCDットコムを活用し342サンプル収集 調査時期: H26.12.12～H26.12.31
 調査項目 : 同地域への関心度合い、旅行の目的、移動手段、観光ニーズなど

①三遠南信地域を知っているか



③自動車道開通に向けての期待



②知っている観光地等

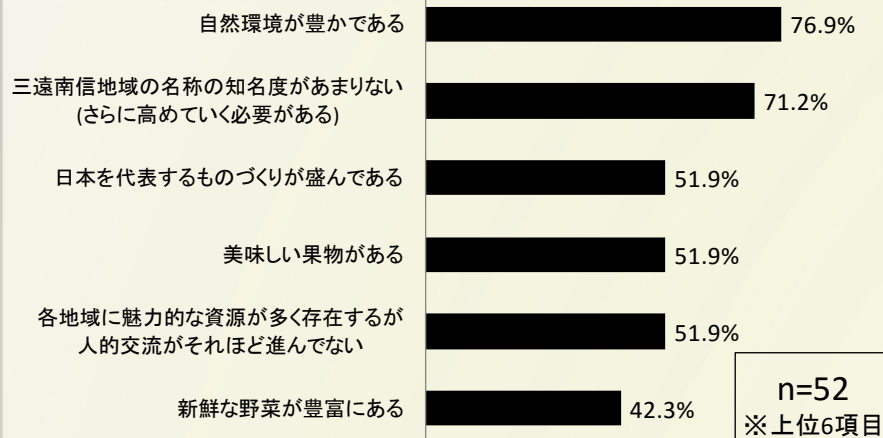
東三河	遠州	南信州
豊川稲荷 (51.2%)	浜名湖 (79.2%)	南アルプス (60.5%)
伊良湖・恋路ヶ浜 (48.5%)	館山寺温泉 (38.0%)	駒ヶ岳 (53.8%)
蒲郡温泉郷 (37.1%)	浜松城 (36.3%)	天竜舟下り (47.1%)

3. 事業者ヒアリング等調査結果

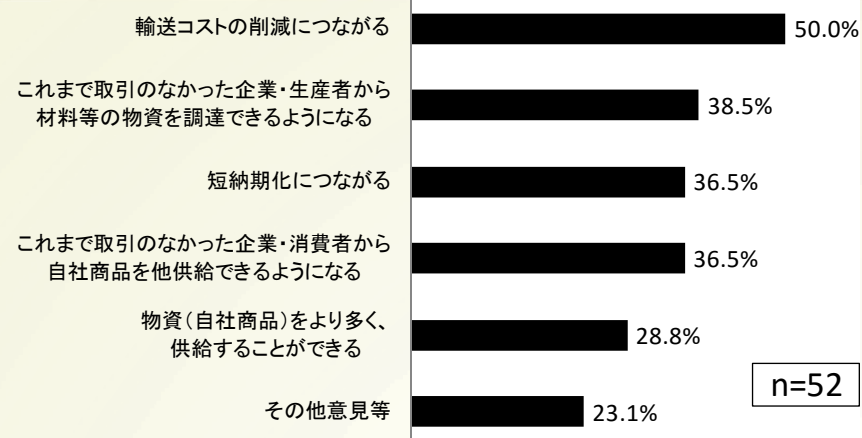
調査概要

対象 : 三遠南信地域内の事業者(ヒアリング10先、アンケート52先) 調査時期: H26.10.27~H27.1.30
調査項目 : 三遠南信地域の特性、自動車道開通への期待、開通を見据え取り組んでいることなど

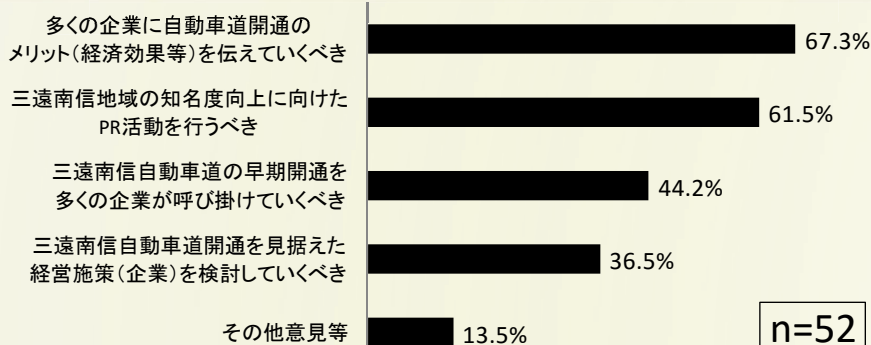
三遠南信地域の特性(地域の強み、弱み)



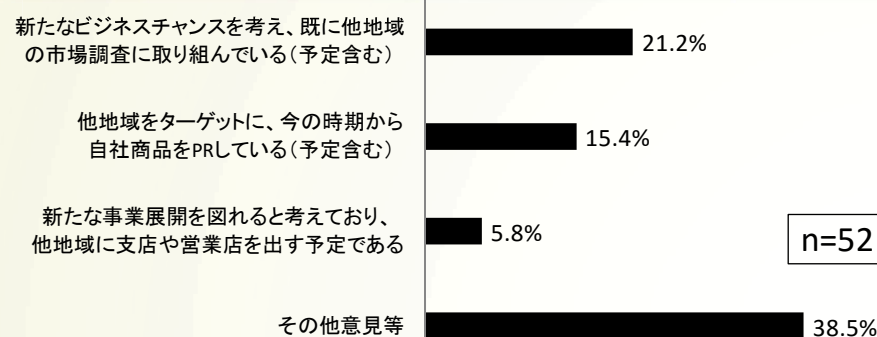
三遠南信自動車道開通に期待すること



自動車道開通の効果を高めるために



開通を見据え、取り組んでいること(予定含む)



4. 経済波及効果の推計

三遠南信自動車道開通時の経済効果

整備効果の推計

自動車道建設への直接投資によってもたらされる経済効果

自動車道建設への直接投資額を、県ごとに按分し、各県の産業連関表を用いて経済波及効果を推定

直接投資額

愛知県区間	779.6億円
静岡県区間	720.4億円
長野県区間	2,177.5億円
計	3,677.5億円

産業連関分析

整備効果

愛知県区間	1,368.1億円
静岡県区間	1,109.1億円
長野県区間	3,544.6億円
計	6,021.8億円

開通効果の推計

3.0時間圏内人口(日帰り観光客)増加による経済効果

3.0時間圏内人口(日帰り観光客)増加数を予測し、消費単価を乗じて推計

3.0時間圏内人口の増加人数

東三河地域	319千人
遠州地域	411千人
南信州地域	205千人
計	935千人

産業連関分析

日帰り観光客増加による経済効果

東三河地域	33.6億円
遠州地域	33.9億円
南信州地域	20.4億円
計	87.9億円

交通時間節約による経済効果

車1台当たりの交通時間節約金額を予測し、観光入込台数を乗じて推計

各区间における交通時間節約金額

南信州⇒東三河	8.3億円
南信州⇒遠州	17.1億円
東三河・遠州⇒南信州	12.2億円
計	37.6億円

産業連関分析

宿泊観光客増加による経済効果

東三河地域	10.8億円
遠州地域	17.5億円
南信州地域	15.0億円
計	43.3億円

5. 総括

開通の経済効果

整備効果は6,022億円

開通効果は131億円

WEBアンケート結果

- ・特定の観光地(豊川稲荷、浜名湖、南アルプス、駒ヶ岳等)だけではなく個々の観光地の魅力を高めることによる地域内全体の魅力向上
- ・開通の効果を高めるため、本地域の情報発信を拡充

事業者ヒアリング等調査結果

- ・開通により、輸送コストの削減、短納期化、日帰り観光客増加や医療サービス拡充につながるが、同自動車道へのアクセス改善も必要
- ・開通のメリットを多くの企業に発信し、地域の事業者は今から自動車道開通を見据えた事業展開等の検討が必要(例 南信州の企業による東三河や遠州の市場調査等)

行政、住民、事業者が連携して、自動車道開通の効果を高めるための取組みが重要